

中高一貫教育だより

～広尾の子どもは広尾で育てる～

第68号

令和8年

3月発行

発行者

広尾町中高一貫教育推進委員会

《中高一貫》 進路講話



〈何事にもまずは挑戦！〉

2月2日（月）、広尾中学校体育館にて「中高一貫進路講話」が開催され、高校生活の経験を4名の広尾高校の生徒が中学生にお話をしました。

荒木沙藍さんは、自分の進路を考えるきっかけとして積極的に行動すること、広尾町にはその環境が整っていること、そして毎日小さな挑戦を積み重ねることによって自分を信じる「自信」に繋がると話してくれました。

窪田光花さんは、自身の進路活動の詳しい入試の内容やそれに向けた取り組みを説明してくれた後、フードデザインという授業で力を入れた「料理甲子園」への挑戦が、自分の大きな武器になったことを伝えてくれました。

工藤慎太さんは、今興味のあることや気になっていることをそのまま放置せずに、少し調べてみてほしいこと。また、中学校の基礎学力が高校、そしてその先の将来にも必ず役に立つことを力説してくれました。

末永愛琳さんは、自身の進路活動の経験を基に、上手くいかないことがあっても、前向きに切り替えることや、自分が後悔しない道に挑戦することの重要性を説いてくれました。

講話を行った4名は、3年前、中学生としてこの場所で先輩の話を聞いていました。当時は自分が壇上に立つ姿など、想像もしていなかったことでしょう。広尾高校で大きく成長した姿を中学生に披露する機会をいただき、心より感謝申し上げます。広尾町の中高一貫教育における1年間の集大成として、また、この「3年越しのバトン」が循環していく教育の流れを、町の大切な財産として今後も継続していきたいと思っています。

SCCの記録

SCCとは、Secondary Collaborated Class の略称です。これは、多様な能力や様々な適性を持つ広尾の子どもたち一人ひとりに応じた「きめ細かな学習指導」を通して「基礎・基本の確実な定着」を図っていくために、中学校と高校が連携した合同授業や出前授業、TT、チューター学習などを行うものです。

国語

今年も3回の漢字検定を合同で実施しました。第1回では11名、第2回では9名、第3回では14名の中高生が受検しました。高校生は自分のスキルアップや努力を証明するために、こつこつと学習に励んでいました。中学生は自分の先輩の姿を見て、良い目標にしながら学習意欲を高めることができました。

また、中学校1年生と3年生を対象に高校の高橋教諭が授業を行いました。中学生一人ひとりが、高校の授業の雰囲気や学習内容を知ることができ、これからの進路に具体的なイメージを持つことができました。



数学

今年度はオープクラスウィークの時期に中高連携事業として、中学校の授業に高校教諭が参加し、授業の補助に入りました。図形の証明問題などの難しい課題に各自で取り組み、複数の数学科教員で個別に指導しました。つまりくところは生徒一人ひとり異なりますが、多くの教員が教室内にすることで、きめ細かい指導を行えたと考えています。また、普段接点の少ない高校の教員と中学生がコミュニケーションをとる場面も多く見られ、中高のつながりを強める貴重な機会となりました。今後も、定期的に中学生の学習をサポートする機会を設けていきます。

社会

各校のICTを活用した授業の交流を行いました。今年度、広尾高校で生徒が使用しているタブレットが新しく導入されたことがあり、広尾高校の授業を中心にICTを最大限生かせる授業展開について授業後振り返りを行ってきました。

中学校と高校でのICT環境にまだ段差が生じているのでこの差を徐々になくしていくことができれば、中学から高校へつながりをもって学習を進めることができると感じました。

理科

12月11日に広尾中学校2年生を対象に、「岩石」と「鉱物」の単元でSCCを実施しました。中学校の山根教諭がTTとしてサポートし、高校の小暮教諭がメインで授業を行いました。生徒は授業を行う前に中学校の校庭で2~3cmほどの岩石を採集しました。防護メガネをかけた生徒が力強くハンマーで岩石を叩き割りました。生徒は岩石を割る経験がなく、きれいに岩石が割れたときには歓声をあげて喜びました。岩石の割った断面をルーペで観察し、岩石の鉱物の割れ方や鉱物の成長過程など、マグマが冷却され固結する岩石形成の違いについて学びました。ほかに生徒は透明や白色の鉱物を顕微鏡で観察し、日常生活では見られない鉱物の美しい世界に感動しました。生徒の感想はとても良かったです。



英語



12月9日(火)、広尾高校の船越教諭・東教諭が広尾中学校3年生を対象にSpeaking指導を行いました。生徒は高校の教諭と1対1で、教諭からの「趣味」や「好きな教科」などのいくつかの質問に対する応答を英語で行いました。授業は英語検定3級レベルを意識し、入室時の“May I come in?”からはじまり、挨拶や自己紹介、その後の流れはすべて英語で進行されました。授業前の中学生は、英語で受け答えに自信がなく不安でいっぱい様子でした。しかし、授業後には「楽しかった!」「意外と答えられた」「そういう意味だったのか」というようなポジティブな感想が多くありました。英語が得意な生徒は堂々と流暢に、苦手な生徒は言葉に詰まりながらも知っている単語を組み合わせたり、ジェスチャーをしたりと自分の言いたいことを伝えようと取り組む姿が印象的でした。

このSCCを通じて、英語でやりとりすることへの抵抗感を減らし、英語検定等の資格取得や海外派遣参加への意欲につながることを期待しています。

保健体育

12月10日3・4校時、広尾高校体育館において、広尾中学校2年生と広尾高校3年生の科目「生涯スポーツ」の選択者の合同授業が2時間にわたって実施されました。内容は、鉄棒（低鉄棒・高鉄棒）とマット運動の2つに分かれ、高校生が中心となって中学生に技の指導を行いました。今回の授業を通して高校生は中学生に「技ができるようになる達成感を実感してもらう」ことが達成できるように、積極的にコミュニケーションをとり、教え合う姿が見られました。また、中学生は小学校以来の鉄棒や初めて挑戦する高鉄棒に触れ、高校生に補助をしてもらいながら、初めての技にも挑戦していました。マット運動では、技がキレイに見えるポイントやできるようになるためのコツを教わり、楽しく取り組むことができました。



家庭科



6月26日と7月11日の2回、広尾中学校2年生の家庭科の授業で、高校教諭がTTに入り、被服実習のサポートを行いました。ミシンを使ったエコバッグの製作において個々の進捗状況に応じて、中学校教諭と一緒に複数の目で見ることによって丁寧にサポートすることができました。また、1月27日には広尾中学校1年生の家庭科の授業で、高校教諭がTTに入り調理実習のサポートを行いました。調理実習では、被服実習よりもグループで協力して完成させることが大切になるため、指導する側もすぐに答えを教えるのではなく、生徒に自分達で考えて気付かせられるよう、声かけを工夫しながらより丁寧な実習の支援ができたと思います。

養護

全校生徒を対象とした心の健康に関する講話（広尾高校）や2・3年生を対象とした性に関する講話（広尾中）の参観を行い、SCCを実施しました。生徒たちは、改めて健康の大切さや命の大切さを実感し、自分自身について考える、充実した機会になったと思います。

中高連携 生徒の活動から

①交通安全街頭啓発運動 7月23日（水）

7月23日の放課後、神社公園前の道路において交通安全啓発運動を実施しました。今年度も広尾中学校と広尾高等学校の合同で行い、生徒同士の交流を深める機会となりました。当日は広尾警察署職員の方々にもご協力をいただき、事前に作成した啓発用紙をポケットティッシュに入れ、眠気覚まし用のガムとともに、ドライバーの皆様へ手渡しして配布しました。活動中には、広尾警察署の方から事故が多発している場所やその状況について説明を受け、生徒一人一人が交通安全への意識を高める有意義な活動となりました。



②中高一貫合同清掃 9月18日（木）

他の中高一貫連携事業では、生徒会や一部の学年が交流していますが、この合同清掃はお互いの全校生徒が集まり同時に活動を行い、他の行事以上に生徒間の交流を深めることができました。当日には広尾高校の生徒がリーダーシップを発揮し、中学生に対してアイスブレイクとして様々なアクションを起こしてくれました。清掃区域は学校周辺と広尾川周辺の2つに分かれて活動しました。活動を終えての振り返りシートからは、「町にはタバコの吸い殻や飲料容器が多く、海辺には漁具や外国のゴミ、マスク等も散乱していた」との感想がありました。清掃活動を通じて自分たちだけでなく、地域住民全体へ美化意識が広がればと思います。



令和7年度 北海道広尾高等学校 3学年の進路状況

令和8年2月5日現在 3年生在籍 男子:14名 女子:7名 計:21名

<就職志望者 9名> 決定者数:男子5名 女子4名 計9名

進路区分	希望者数			決定者数			内 定 先
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
就職町内	5	3	2	5	3	2	農協サイロ株式会社、イタックス株式会社、拓殖工業株式会社、株式会社畑下組、有限会社広和堂
就職管内	3	2	1	3	2	1	高堂建設株式会社(2名)、株式会社パーペル
就職道内	0	0	0	0	0	0	
就職道外	0	0	0	0	0	0	
公務員	1	0	1	1	0	1	広尾町特別養護老人ホームつつじ苑(会計年度職員)
自営・その他	0	0	0	0	0	0	
就職者合計	9	5	4	9	5	4	就職希望者割合 42.9% 内定率 100%

<進学志望者 12名> 決定者数:男子6名 女子3名 計9名

進路区分	希望者数			決定者数			決 定 先
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
4大国公立(文系)	3	3	0	1	1	0	釧路公立大学
4大国公立(理系)	1	1	0	0	0	0	
4大私立(文系)	2	2	0	2	2	0	札幌国際大学、ZEN大学
4大私立(理系)	1	0	1	1	0	1	札幌保健医療大学
短大国公立	1	0	1	1	0	1	旭川市立短期大学
短大私立	0	0	0	0	0	0	
看護学校	1	1	0	1	1	0	北海道看護専門学校
専門・専修学校	3	2	1	3	2	1	札幌デザイン&テクノロジー専門学校、北海道理容美容専門学校、札幌調理製菓専門学校
進学者合計	12	9	3	9	6	3	進学希望者割合 57.1% 決定率 75.0%

<全 体>

	在籍者数			決定者数			進路決定率
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
合 計	21	14	7	18	11	7	85.7%